

# 第 17 期事業報告

自:2021 年 7 月 1 日

至:2022 年 6 月 30 日



## 1. 事業の概況

公益財団法人日本バレーボール協会から独立法人化して17年目を迎えた一般社団法人日本バレーボールリーグ機構はチームが主体となってホームゲームを運営する形態に舵を切り4年目を迎えました。今年度も昨年度に続き、シーズンを通して新型コロナウイルスの影響を大きく受ける1年となりました。そのような中で、今シーズンはポストコロナ期に向けて一歩踏み込み、医学エビデンスに基づいた必要な感染防止対策を講じた上で、コロナ禍においても競技の魅力やイベントの面白さを最大限発信し、収益最大化、事業性の維持・向上を成し遂げることを目的として対策に取り組んでまいりました。

以下、第17期事業年度の概況を取りまとめご報告いたします。

2021年9月30日に開催した第16回定時社員総会において、監事の任期満了に伴い改選となり、監事2名が再任されました。社員総会で選任された理事および監事により開催した、第17期第1回理事会において國分裕之代表理事会長、福田峰夫副会長の再任を決定しました。また、第16回定時社員総会にて、一般社団法人ネオバレーボールクラブ仙台の入社承認を行い、当機構の法人数は50法人(51チーム)となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中で開幕した2021-22 V.LEAGUEは2022年1月以降、オミクロン株による急速な感染拡大の影響を受け、開催中止となる試合が発生し、2022年4月16日に開催を予定していたDIVISION1 WOMEN V・ファイナルステージ ファイナル第2戦も中止することとなりました。

中止となった試合は、V・レギュラーラウンドの開催期間を延長して可能な限り再試合を開催し、再試合を行うことができなかった場合には、新型コロナウイルス対策に関する規程および緊急時対策規程に則って、勝敗と順位を決定しました。

試合の開催にあたって、選手・スタッフ、審判員は、感染リスクを抑えるために、スクリーニング検査として週1回の頻度で抗原定性検査を行いました。お客様や試合開催に関わる全ての皆様(選手・チームスタッフ・大会運営役員・報道関係者)が安心・安全に会場いただけるよう、2020-21シーズンに策定した『新型コロナウイルス対策ガイドライン』の内容を見直し、改定を行いました。シーズン中にも、収容率の上限緩和や応援スタイルの緩和など、状況に応じた改定を行いました。

一方、2021年6月、DAZNとの契約が終了したことにより、大幅な収入減の中、現状見込まれる収入の最大化とオペレーションコストの削減によりチャレンジシステムの運用継続を判断、▲27百万円の赤字予算としました。しかしながら、期中に、見込んでいた収入の減による大幅な赤字見込みとなりV1各チームに交通費の不支給について協力を仰ぐこととなりました。1月以降、大会の中止が相次ぎ更に収入減が重なり当期の営業損失は▲77百万円となりました。加えて、排球堂マーケティング株式会社との統合による特別損失が▲45百万円となり、当期損失は▲122百万円となりました。

来期以降もV.LEAGUEを通常運営するためには費用削減に努めることはもちろんのこと、収益の増が必須の状況であり、スポンサーセールスの強化により収益増を図るとともに将来にわたってV.LEAGUEが安定運営できるようにリーグの価値を高めるべく「中期計画」を策定して取り組んでまいります。引き続きご協力の程、お願いいたします。

以下、事業内容を、詳述いたします。

## 2. 事業内容

### (1)V.LEAGUE DIVISION1

2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 MEN は 10 チームの参加により 2021 年 10 月 15 日に松本市総合体育館(長野県松本市)、ウイングアリーナ刈谷(愛知県刈谷市)の 2 会場で開幕し、4 回戦総当たり方式による V・レギュラーラウンド 180 試合と上位 3 チームによる V・ファイナルステージ 3 試合で計画しましたが、V・レギュラーラウンドは新型コロナウイルスの影響により 9 試合がリモートマッチになり、22 試合が中止となりました。V・レギュラーラウンド優勝のウルブドッグス名古屋とファイナル 3 を勝ち上がったサントリーサンバーズによるファイナルは、2022 年 4 月 10 日にこのはなアリーナ(静岡県静岡市)で第 1 戦を行い、ウルブドッグス名古屋が 3-0 で勝利。第 2 戦は、2022 年 4 月 17 日に千葉ポートアリーナ(千葉県千葉市)で開催し、サントリーサンバーズがウルブドッグス名古屋を 3-0 で下し、突入したゴールデンセットでも勝利を重ね、ファイナルを制し、サントリーサンバーズが 2 年連続 9 度目の優勝を飾りました。

2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN は 12 チームの参加により 2021 年 10 月 15 日にウカルちゃんアリーナ(滋賀県大津市)で開催し、3 回戦総当たり方式による V・レギュラーラウンドを行いました。V・ファイナルステージは V・レギュラーラウンドの上位 3 チームによるファイナルステージ 3 試合で計画しましたが、新型コロナウイルスの影響により V・レギュラーラウンド 198 試合のうち 20 試合がリモートマッチになり、30 試合が中止となりました。V・ファイナルステージもファイナル第 2 戦を前に両チームから複数の新型コロナウイルス陽性者が出たため中止を決定し、第 2 戦は新型コロナウイルス対策に関する規程に則り「勝敗をつけない」取扱いとし、ファイナルに進出した久光スプリングスと JT マーヴェラスのうち、第 1 戦の勝者である久光スプリングスが 3 年ぶり 8 度目の優勝を飾りました。

男女合計でリモートマッチを余儀なくされた試合が 29 試合あり、52 試合が中止となりましたが、各チームの努力と都道府県協会のご協力により再試合を開催することができ、コロナ禍にあっても 369 試合を開催することができました。観戦入場者数をみると、大会合計で 247,920 人(対前年比 42,146 人増)、MEN は 138,256 人(対前年比 5,835 人減)、WOMEN はレギュラーラウンドの試合数が増加したこともあり 109,664 人(対前年比 47,981 人増)、となりました。1 開催日平均では、MEN が 859 人(対前年比 42 人減)、WOMEN が 783 人(対前年比 66 人増)でした。

配信に関しては、DIVISION1 全試合ならびに男女オールスターを Vリーグ公式動画配信サービス V.TV にてライブ配信しました。テレビ放送については、BS(NHK BS1、BS フジ)、CS(GAORA、フジテレビ)、地上波(ローカル)でも昨年同様放送されました。

### (2)V.LEAGUE DIVISION2・3

2021-22 V.LEAGUE DIVISION2 MEN は 15 チームによる 2 回戦総当たり方式で全 210 試合を実施いたしました。大会はヴォレアス北海道が初優勝を飾りました。また、2022-23 シーズンでの V2 と V3 の編成数の変更に伴い、V2 男子下位 5 チーム(11 位~15 位)が V3 に自動降格、V2 男子 10 位のトヨタ自動車サンホークスと V3 男子優勝のアイシンティルマーレによるチャレンジマッチの結果、アイシンティルマーレが勝利し V2 昇格を果たしました。

2021-22 V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN は 10 チームによる 2 回戦総当たりの V・レギュラーラウンドと上位 4 チームが V・ファイナルステージの競技形式で、V・レギュラーラウンド 90 試合 V・ファイナルラウンド 6 試合全 96 試合開催しました。大会はルートインホテルズブリリアントアリーズが初優勝を飾りました。

男女合計で 301 試合をのべ 67 会場(男子 48 会場、女子 19 会場)で開催することができた一方、そのうちリモートマッチを余儀無くされた大会が 35 試合あり、60 試合が中止となり延期・再試合の設定を行うことができませんでした。観戦入場者数をみると男女合計で 18,001 名(対前年比 8,084 人減)、MEN は 6,644 人(対前年比 8,209 人減)、WOMEN は 11,357 人(対前年比 125 人増)となりました。1開催日平均では MEN は 244 人(前年比 79 人減)、WOMEN は 277 人(前年比 63 人減)でした。

2021-22 V.LEAGUE DIVISION3 MEN は 4 チームによる 5 回戦総当たり方式によるリーグ戦を開催しました。大会はアイシンティルマーレが初優勝を飾りました。のべ 5 会場 26 試合を開催することができた一方、すべての試合がリモートマッチでの開催となりました。

2021-22 V.LEAGUE は政府の方針による観戦入場者数の制限や、新型コロナウイルス陽性者の発生等に伴う試合の中止なども影響し、昨シーズン同様に観戦入場者数は低迷する結果となりました。

### (3)V・チャレンジマッチ

2021-22V・チャレンジマッチ女子大会は 2022 年 4 月 9 日、10 日に四日市市総合体育館(三重県四日市市)にて開催しました。DIVISION2 優勝のルートインホテルズブリリアントアリーズが DIVISION1・12 位の KUROBE アクアフェアリーズと、DIVISION2 準優勝の群馬銀行グリーンウイングスが DIVISION1・11 位のヴィクトリーナ姫路と 2 戦方式で対戦しました。結果は KUROBE アクアフェアリーズがポイント数で、ヴィクトリーナが勝利数で DIVISION1 残留を決めました。

V1・V2 男子入替戦と V2・V3 男子の入替戦の男子大会は 2022 年 4 月 9 日、10 日に小田原アリーナ(神奈川県小田原市)で開催しました。V1・V2 入替戦は、DIVISION2 優勝のヴォレアス北海道が DIVISION1・10 位の VC 長野トライデンツと、DIVISION2 準優勝の富士通カワサキレッドスピリッツが DIVISION1・9 位の大分三好ヴァイセアドラーと 2 戦方式で対戦しました。結果は、VC 長野トライデンツが 2 試合通算の得点率で上回り、大分三好ヴァイセアドラーが 2 試合通算のポイント数で DIVISION1 残留を決めました。また、V2・V3 入替戦は、DIVISION3 優勝のアイシンティルマーレが DIVISION2・10 位のトヨタ自動車サンホークスと 2 戦方式で対戦し、アイシンティルマーレが

2 試合通算の勝利数で DIVISION2 昇格を決めました。

### (4)その他大会

#### ① 2021 V・サマーリーグ

2021V・サマーリーグは東西 2 箇所に分かれ、東部大会は 2021 年 6 月 25 日～27 日に黒部市総合体育センター(富山県黒部市)にて 12 チームが参加し、西部大会は 2021 年 7 月 2 日～4 日にスカイホール豊田(愛知県豊田市)で 10 チームが参加しました。東部大会は PFU ブルーキャッツが 3 年ぶり 2 度目の優勝、観戦入場者数は 3 日間で 1,526 名でした。西部大会はデンソーエアリービーズが初優勝し、観戦入場者数は 3 日間で 2,005 名でした。また、大会期間中に印象に残る活躍をし、かつ将来性の高い選手に贈られる「フレッシュスター賞」には各 DIVISION から東西それぞれ 1 名ずつ計 4 名が選ばれました。

#### ② 2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 ALL STAR in TOKOROZAWA

2021 年 12 月 25 日に男子オールスターゲームを、26 日に女子ファンフェスタを所沢市民体育館(埼玉県所沢市)で開催しました。男子オールスターゲームでは Team ブイリーと Team ブイきちに分かれて試合を行いました。ま

た、女子ファンフェスタでは3つのチームに分かれチーム対抗クイズ対決や春高バレーコラボ企画「プレイバック春高！」と題したイベントを行い盛り上がりました。2日間の入場者数は1,743名で大いに盛り上がりました。

### ③ 2021Vリーグジュニア選手権ブロック大会

2021年8月にVリーグジュニア選手権大会を岐阜県にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となり、代替大会として全国3会場にてジュニア選手権ブロック大会を開催しました。

### ④ 2022 アジアクラブ選手権大会

2022 アジアクラブ選手権大会は、MENは2022年5月14日～5月20日にイラン/テヘラン(参加8チーム)にて開催され、サントリーサンバーズが日本代表として参加し準優勝しました。WOMENは2022年4月24日～4月30日にカザフスタン/セメイで開催され、JTマーヴェラスが日本代表として派遣予定でしたが新型コロナウイルス陽性者発生に伴い、日本は大会不参加となりました。

## (5) 広報／プロモーション活動

### ① 記者会見

2021-22 V.LEAGUE の開幕を控えた、2021年10月7日、8日に男女それぞれ開幕記者会見をオンライン形式にて開催しました。DIVISION1～DIVISION3まで出場全チームから男女計61選手が参加し、会見とトークセッションを通じて大会の魅力と意気込みをPRしました。

### ② 2021-22 V.LEAGUE オフィシャルソング

2019-20シーズンからVリーグオフィシャルパートナーのSHIKURAMEN(シクラメン)が2021-22シーズンのオフィシャルソングとして「GETFLY」を新たに書き下ろしました。DIVISION1 MEN 開幕記者会見や男子ファイナルにも出演し、V・ファイナルステージのセット間に行われたライブでは会場が一体となり、大会を盛り上げて頂きました。

### ③ V.LEAGUE コラボレーション

#### □V.LEAGUE × 東ハト

2018-19シーズンから毎年行っている、株式会社東ハトの受験生応援商品とコラボレーションし、リベロ=ボールを「落とさない」という<sup>げんかつぎ</sup>験担ぎとして、受験生応援 SNS キャンペーン「#リベロからのお守り」を展開しました。東ハト社公式サイト「カナエル神社」にはブイリー・ブイきちデザインの絵馬なども登場しました。

### ④ プロモーション活動

#### □V.LEAGUE オフィシャルファンサイト

2018-19シーズンから新サイトへ移行した「V.LEAGUE オフィシャルファンサイト」は、2021-22シーズンもファンの皆様に楽しんでいただけるコンテンツの作成や迅速な情報の提供に努めて参りました。また、2020-21シーズンに続き、2021-22シーズンも新型コロナウイルス対策に関するページを設け、ファンの皆さまが安心・安全にアリーナで観戦いただくための情報発信に努めました。

## □公式 SNS (Twitter、Instagram、Facebook、YouTube)

公式ホームページでは紹介しきれない情報や、一般報道では伝えられない選手関連情報、試合映像や写真の紹介、また選手のサイン入りグッズをプレゼントするキャンペーンなどを実施しました。今後も写真や動画を掲載し、幅広い世代のファンの皆さまにアプローチし、様々な最新情報やアリーナ外でも楽しめるコンテンツの提供に努めてまいります。2022年5月1日時点の各公式 SNS のフォロワーは Twitter/ 160,919 名、Instagram/ 71,732 名、Facebook/22,995 名、YouTube/61,500 名となりました。

## □Vリーグ公式チケット販売サイト(V チケ)

Vリーグ公式チケット販売サイトとして、Vリーグのチケットを販売しました。2021-22 シーズンも新型コロナウイルス感染症の影響から昨シーズンより引き続き、チケット販売におけるガイドラインを策定しました。全席指定席販売とした中で、開幕時点での入場者制限は収容率の上限 50%としておりましたが、2022 年 1 月以降の大会より感染防止等を実施することにより入場者を 100%に変更する等、チケット販売の考え方の見直しを行いました。また、アリーナ入場時にはVアプリを利用した電子チケット引き取りを推奨するなど、機能を活かした感染拡大防止策に努めました。Vチケ会員数は 2022 年 4 月 18 日時点で 106,861 名となりました。

## □Vリーグ公式アプリ(V アプリ)

「Vアプリ」ではファンの皆様が知りたい情報や、会場来場時に便利で楽しめる各種サービスを提供しています。2019-20 シーズンより、Vリーグチケットとも連携をし、V アプリ内での発券サービスを開始しました。また、今シーズンは V アプリのサービス機能充実の為、試合観戦についての会員様向けのアンケートやプレゼント企画、Vリーグ公式サイトに掲載されるチーム情報との連携も行いました。V アプリの来場チェックインやスタンプ機能を活用したホームゲームイベントの実施も行いました。2022 年 5 月 19 日時点でのVアプリ会員数は 48,935 名となりました。

## ⑤ 映像配信

### □V.TV

DAZN との契約が 2021 年 6 月に満了となったため、今シーズンはできる限り多くの試合をファンの皆様にお楽しみいただくため V.TV にて V1 全試合の LIVE 配信・オンデマンド配信、V2～V3 の一部試合を LIVE 配信・オンデマンド配信をしました。また、新型コロナウイルスの影響で中止になった試合を楽しみにしているファンの皆様のために 2020-21 シーズンの同一カードを無料会員向けに公開しました。結果、V.TV でのライブ配信とオンデマンドの配信は、DIVISION1 MEN184 試合、WOMEN 203 試合、DIVISION2 MEN30 試合、WOMEN 23 試合、DIVISION3 MEN 5 試合の合計 445 試合となりました。2022 年 4 月 1 日時点での会員数は無料会員 61,774 名、有料会員 12,000 名となりました。

## (6) 社会貢献活動

### ①日本骨髄バンク支援活動

Vリーグ機構では、社会貢献活動の一環として、2006/07 シーズンより公益財団法人日本骨髄バンクへの支援活動を行ってきました。2021-22 シーズンも全国各地の V.LEAGUE 大会の会場に横断幕やのぼりを設置する等、骨髄バンクの活動を啓蒙いたしました。

## (7) 普及活動

### ①V・明日夢(みらい)プロジェクト

「V・明日夢(みらい)プロジェクト」は、2012年11月にスタートし、全国でバレーボールの普及に努めてきました。Vリーグ選手のOB/OGで構成する講師の登録数も140名を超えました。今年度も新型コロナウイルスの影響に伴い、その活動は限定的なものとなりました。

#### □「V・明日夢プロジェクト」バレーボール教室

今年度のV・明日夢プロジェクトバレーボール教室は全国9会場での開催に留まりました。いずれの会場においても感染拡大防止策を講じた中での実施となりました。教室は株式会社ビジネスブレイン太田昭和協賛などにより行われ、小中高生などを対象にのべ746名が参加し、講師はのべ27名が参加しました。

#### □V・明日夢プロジェクト・武蔵野市内小中学校訪問 活動記録

東京都武蔵野市教育委員会にご協力いただき、武蔵野市内の小中学校14校へ訪問し、バレーボールの素晴らしさを伝えました。

#### □日野市立大坂上中学校女子バレーボール部 with V・明日夢プロジェクト

東京都日野市体育協会様からの依頼を受け、V・明日夢プロジェクトでは2021年4月～2021年12月までの期間、大坂上中学校への部活動指導を15回行いました。

## (8) 研修会・委員会活動

### ① プレーヤーズミーティング・若手研修会

プレーヤーズミーティングにはVリーグ各チームから75名、若手研修会には110名が参加しました。今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、WEB方式にて実施しました。内容は共通研修として2020-21Vリーグの振り返りとコンプライアンス研修を実施するとともに、プレーヤーズミーティングではグループディスカッションも行いました。

開催期間:	【配信】2021年8月6日～31日
	【開催】2021年9月2日(プレーヤーズミーティングのみ)
開催方式:	WEB研修会方式
出席対象者:	【プレーヤーズミーティング】 Vリーグ各チーム代表選手
	【若手研修会】 Vリーグ所属3年目までを目安とした若手選手

### ② 2021-22 V.LEAGUE キックオフミーティング

キックオフミーティングを開催して、V.LEAGUE大会の運営に関する説明を行いました。今年度もWEB方式で開催しました。参加者には事前に説明内容を配信動画で確認していただき、別途質問会を設けて参加者の疑問に答えました。

開催期間:	2021年8月31日～
-------	-------------



質問会： 2021年9月4日 14:00～16:00  
開催方式： WEB 会議方式  
出席対象者： V.LEAGUE チーム担当者、JVA、都道府県バレーボール協会、  
全国ブロック理事長、JURY など

### ③ JURY 会議

JURY が一堂に会し、2021-22 V.LEAGUE の運用の確認を行いました。

開催日： 2021年9月25日 13:00～17:00  
開催方式： WEB 会議方式  
出席対象者： JURY

### ④ レフェリークリニック

2021-22 V.LEAGUE の運用の重要事項を確認するレフェリークリニックを開催しました。

開催日： 2021年9月26日 10:00～12:30  
開催方式： WEB 会議方式  
出席対象者： JURY、Vレフェリー、V.LEAGUE チーム監督

### ⑤ ゲームコーディネーターミーティング

大会の競技以外部分の全体のコントロールを行う、ゲームコーディネーターが集まり、その役割と今シーズンの運用等について確認を行いました。他の会議同様 WEB 方式で開催しました。参加者には事前に説明内容を配信動画で確認していただき、別途質問会を設けて参加者の疑問に答えました。

開催期間： 2021年9月7日  
質問会： 2021年9月18日 13:00～14:00  
開催方式： WEB 会議方式  
出席対象者： ゲームコーディネーター

### ⑥ 新型コロナウイルス対策責任者会議

新型コロナウイルスの影響下で大会を開催するにあたり、大会に関わる全ての人が安心・安全な環境で開催できるように、各会場でコロナ対策を行う責任者が集まり、対策責任者会議を開催しました。

開催日： 2021年9月11日 13:00～16:00  
開催方式： WEB 会議方式  
出席対象者： 各チームおよび各大会の新型コロナウイルス対策責任者

### ⑦ 各種委員会活動

Vリーグ機構の委員会は、理事会・運営会議等のVリーグ機構主要会議により発議発案された課題や問題など、主にVリーグ機構運営上の重要問題に関して会長が諮問するテーマについて、理事・チーム代表・事務局・外部有識者などが委員となり、研究内容・方向性・一定の結論などを運営会議で報告・提案や理事会・会長に答申する

役割を担っています。

主要な小委員会として「技術情報委員会」、「ライセンス審査委員会」、「Vリーグ審判運営委員会」、「規程・マニュアル委員会」、「コンプライアンス委員会」、「メディカル委員会」などがあり、活動を行いました。

#### (9) 助成金

独立行政法人日本スポーツ振興センターより、我が国における国際競技力の向上を期すための国の助成金制度「競技強化支援事業助成金(国庫基金)」(2003年度～)および「スポーツ振興くじ助成金」(2011年度～)の交付を受けています。今年度については、両助成金で64百万円の交付を受け、マネジメント機能強化、研修会やDIVISION1の活性化およびDIVISION2・3の強化育成・活性化に活用しました。今年度までの交付累計受入額は715.6百万円に達しています。

今後とも制度の主旨に沿った有効活用を心がけ、改善改革に努め、組織基盤の強化を図り、バレーボール界の普及・発展に邁進してまいります。

#### (10) 協賛金

今シーズンもDIVISION1へ各企業より継続的に協賛をいただくことができました。協賛いただきました各企業の皆様と、お世話になりました株式会社電通ならびに排球堂マーケティング株式会社に厚く御礼申し上げます。

しかしながら、結果として協賛金は減額となりました。今後、V.LEAGUEを安定的に運営するためには、協賛いただける企業の獲得は必須であり、そのためにもV.LEAGUEの価値向上に向けて最大限努力して参る所存です。

社員の皆様におかれましても、Vリーグ機構、日本バレーボール界の発展のため、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 3. 社員一覧

\*社員名、チーム名は2022年6月30日現在（順不同）

社員名	チーム名	区分	基金の口数	基金の額（円）
公益財団法人日本バレーボール協会			12	6,000,000
岡山シーガルズ株式会社	岡山シーガルズ	女子	1	500,000
サントリーホールディングス株式会社	サントリーサンバーズ	男子	1	500,000
株式会社デンソー	デンソーエアリービーズ	女子	1	500,000
東レ株式会社	東レアローズ	男子	1	500,000
	東レアローズ	女子	1	500,000
TG SPORTS 株式会社	ウルフドッグス名古屋	男子	1	500,000
日本たばこ産業株式会社	JT サンダーズ広島	男子	1	500,000
	JTマーヴェラス	女子	1	500,000
日本電気株式会社	NEC レッドロケッツ	女子	1	500,000
SAGA 久光スプリングス株式会社	久光スプリングス	女子	1	500,000
日立 Astemo 株式会社	日立 Astemo リヴァール	女子	1	500,000
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ	堺ブレイザーズ	男子	1	500,000
パナソニック株式会社	パナソニックバンサーズ	男子	1	500,000
一般社団法人上尾中央医科グループ協議会	埼玉上尾メディックス	女子	1	500,000
株式会社大野石油店	大野石油広島オイラーズ	女子	1	500,000
近畿クラブ	近畿クラブスフィード	男子	1	500,000
警視庁特科車両隊	警視庁フォートファイターズ	男子	1	500,000
株式会社ジェイテクト	ジェイテクト STINGS	男子	1	500,000
医療法人青雲白鷺会三好内科・循環器科医院	大分三好ヴァイセアドラー	男子	1	500,000
大同特殊鋼株式会社	大同特殊鋼レッドスター	男子	1	500,000
一般社団法人つくばユナイテッドサンガイア	つくばユナイテッド SunGAIA	男子	1	500,000
医療法人社団天宣会	千葉エンゼルクロス	女子	1	500,000
東京フットボールクラブ株式会社	FC 東京	男子	1	500,000
トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車サンホークス	男子	1	500,000
トヨタ車体株式会社	トヨタ車体クインシーズ	女子	1	500,000
一般社団法人東京ヴェルディクラブ	東京ヴェルディ	男子	1	500,000
富士通株式会社	富士通カワサキレッドスピリッツ	男子	1	500,000
一般社団法人 KUROBE アクアフェアリーズ	KUROBE アクアフェアリーズ	女子	1	500,000
株式会社 PFU	PFU ブルーキャッツ	女子	1	500,000
NPO 法人阪神バレーボールコミュニティ	兵庫デルフィーノ	男子	1	500,000
株式会社きんでん	きんでんトリニティーブリッツ	男子	1	500,000
トヨタモビリティ東京株式会社	トヨタモビリティ東京スパークル	男子	1	500,000
グリーン・サポート・システムズ株式会社	GSS 東京サンビームズ	女子	1	500,000
ぎふ農業協同組合	JA ぎふリオレーナ	女子	1	500,000
NPO 法人アザレア・バレーボール振興会	埼玉アザレア	男子	1	500,000
株式会社 VC 長野クリエイティブスポーツ	VC 長野トライデンツ	男子	1	500,000
一般社団法人ブレス浜松	ブレス浜松	女子	1	500,000
株式会社信州スポーツプロモーション	長野 GaRons	男子	1	500,000
株式会社 VOREAS	ヴォレアス北海道	男子	1	500,000
株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ	ヴィアティン三重	男子	1	500,000
NPO 法人 NBK dreamers	奈良ドリーマーズ	男子	1	500,000
株式会社群馬銀行	群馬銀行グリーンウイングス	女子	1	500,000
株式会社プレステージ・インターナショナル	プレステージ・インターナショナル アランマーレ	女子	1	500,000
株式会社姫路ヴィクトリーナ	ヴィクトリーナ姫路	女子	1	500,000
株式会社サフィールヴァ	サフィールヴァ北海道	男子	1	500,000
ルートインジャパン株式会社	ルートインホテルズブリリアント アリーズ	女子	1	500,000
一般社団法人千葉ライズ	千葉 ZELVA	男子	1	500,000
株式会社クボタ	クボタスピアーズ	男子	1	500,000
アイシン辰栄株式会社	アイシンティルマーレ	男子	1	500,000
株式会社プロス	フォレストリーヴズ熊本	女子	1	500,000
一般社団法人ネオバレーボールクラブ仙台	リガール仙台	女子	1	500,000
合計	(50 法人) (51 チーム)		63	31,500,000

#### 4. 役員一覧

2022年6月30日現在

代表理事 (会長)	くにぶ ひろゆき 國分 裕之	1958年(昭和33年)4月13日生 第14期～第16期理事 全日空商事(株) 代表取締役社長
理事 (副会長)	ふくだ みねお 福田 峰夫	1951年(昭和26年)11月4日生 第16期理事 (株)オフィスM 代表取締役
理事	みよし とおる 三好 徹	1947年(昭和22年)4月15日生 第2期～第16期理事 三好総合法律事務所 所長
理事	かやしま あきら 萱嶋 章	1957年(昭和32年)10月4日生 第8期～第16期理事 久光製薬(株) 上席執行役員、SAGA久光スプリングス(株) 代表取締役
理事	まつおか ひろたか 松岡 宏高	1970年(昭和45年)1月22日生 第10期～第16期理事 早稲田大学 教授、ホッケー・ジャパンリーグ 常務理事
理事	はやの ようじ 早野 容司	1960年(昭和35年)3月3日生 第6期～第11期監事、第12期～第16期理事 (公財)日本バレーボール協会ハイパフォーマンス事業本部 男子強化副委員長 (株)ジェイテクト 営業本部 執行副本部長 ジェイテクト STINGS ゼネラルマネージャー
理事	やまもと みちひこ 山本 道彦	1966年(昭和41年)9月1日生 第12期～第16期理事 REINOWA ホールディングス株式会社グループ管理本部長代理 兼 グループ総務人事統括部長 富士通カワサキレッドスピリッツ 監督
理事	おおばやし もとこ 大林 素子	1967年(昭和42年)6月15日生 第14期～第16期理事 (株)ホリプロ、スポーツキャスター
理事	にしお ひろき 西尾 博樹	1965年(昭和40年)4月18日生 第14期～第16期理事 プレステージ・インターナショナルアランマーレ ゼネラルマネージャー
理事	やまもと たかひろ 山本 隆弘	1978年(昭和53年)7月12日生 第16期理事 (株)T-FIVE 代表取締役 (公財)日本バレーボール協会アスリート委員会 委員長

理事	しもむら えいじ 下村 英士	1959年(昭和34年)10月31日生 第16期理事 (一財)広島県バレーボール協会 専務理事 (公財)広島県スポーツ協会 理事
理事	すぎやま あけみ 杉山 明美	1965年(昭和40年)3月1日生 第16期理事 (公財)日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会 ニュートリションユニット顧問 (株)クリスタル・SUGIYAMA AKEMI 代表取締役
理事	こいけ のりこ 小池 徳子	1962年(昭和37年)9月17日生 第16期理事 公認会計士小池事務所
理事	ひき やすお 日置 康夫	1954年(昭和29年)9月6日生 (一財)全日本大学バレーボール連盟 理事 競技委員長 (一社)日本バレーボールリーグ機構 事務局長
監事	ながた まさと 永田 将人	1958年(昭和33年)10月29日生 第11期～第12期理事、第14期～16期監事 デンソーエアリービーズ 部長
監事	よこい としひろ 横井 俊広	1960年(昭和35年)3月8日生 第14期～第16期監事 (一社)愛知県バレーボール協会 理事・副会長 TG SPORTS(株) 代表取締役社長、ウルフドッグス名古屋 SGM TG ウェルフェア(株)取締役社長、豊田合成健康保険組合 理事長

